

ー小児医療先進国並みの「プレイルーム」の普及・啓発を目指す特別大型プロジェクトー  
**「マニユライフわくわくる一む」プロジェクト 支援先決定**

特定非営利活動法人「子ども健康フォーラム」  
マニユライフ生命保険株式会社

特別非営利活動法人(NPO)「子ども健康フォーラム」(理事長：田邊 穰)では、マニユライフ生命保険株式会社(取締役代表執行役社長兼 CEO：ジェフ・クリックメイ)からの寄付金をもとに進めている特別プロジェクト、「『マニユライフわくわくる一む』プロジェクト」において、小児医療施設における理想的なプレイルーム設置の支援計画を打ち出し、支援希望先を全国公募したところ、22施設からの応募を頂き、慎重な審査の結果、大阪府および愛知県の2施設への支援を決定いたしました。

「マニユライフわくわくる一む」プロジェクトは、NPO法人子ども健康フォーラムが、マニユライフ生命の特別協賛を得て、国内で最も先進的な小児専門病院のひとつとして知られている愛知県立あいち小児保健医療総合センター(愛知県大府市)の「わくわくる一む」をモデルに、小児医療施設に入院または通院療養中の子ども達の心のケアと療養環境の改善のための中核施設として、十分な設備・内容を備えた本格的ないわゆる“プレイルーム”の設置を支援し、その意義の啓発、整備の促進を目指すものです。

今回の「マニユライフわくわくる一む」プロジェクト支援先選考にあたっては、NPO法人子ども健康フォーラム内に選考委員会を設置し、各候補施設について、病院全体としての子どもの療養環境改善への取り組みの現状や今後の見通し、プレイルームの維持管理体制などを中心に、数次にわたる審査会で議論を重ね慎重に検討させていただきました。こうした審査に加えて、現地視察結果も加味し、下記2施設を支援先として決定いたしました。

**■ 「マニユライフわくわくる一む」プロジェクト 支援先**

**近畿大学医学部附属病院 (大阪府)**

住所：大阪府大阪狭山市大野東377-2

**豊田厚生病院 (愛知県)**

住所：豊田市浄水町伊保原500-1

上記の2施設は、『マニユライフ わくわくる一む』設置に向けての準備が既に進められており、来年1月にオープンする豊田厚生病院(旧 加茂病院)では、オープンに合わせて『マニユライフわくわくる一む』が仮開設されます。また、近畿大学医学部附属病院では、来年4月に開設が予定されています。

---

## ＜ご参考＞

### モデルとなる愛知県立あいち小児保健医療総合センター「わくわくルーム」について：



入院、通院療養中の子ども達の心のケアを目的として、あいち小児保健医療総合センター3階の病棟外に設けられた、日本ではまだ数少ない本格的なプレイルーム（約30㎡程度。4床室一部屋程度の広さ）施設です。5つの遊びのコーナーに分かれており、厳選した質の高いおもちゃ等遊具を多彩に揃えるとともに、それらを使いこなせる、経験をつんだ保育士の常勤スタッフが運営にあたり、様々な年齢の子、障害の子に対応できるように考えられています。

（写真：あいち小児保健医療総合センターの「わくわくルーム」）

### NPO「子ども健康フォーラム」について

「子ども健康フォーラム」は、未来のある子ども達に、その胸に夢と希望がもてるような環境を整えることが必要・不可欠であるという考えを持っています。日本有数の先進的小児専門病院の「あいち小児保健医療総合センター」（愛知県大府市、センター長 長嶋 正實）をはじめとする小児医療諸施設の装飾支援、プレイルーム支援、子どもの健康に関する施設でのイベント開催支援等を行っています。病児やその家族が癒され、勇気をもって治療を受けられる手助けとなる病院の環境づくりは、高い社会的評価を受けているところです。

### あいち小児保健医療総合センターについて

世界にも通じる国内最先端の小児保健医療の専門施設として、愛知県が2001年11月に一部施設をオープン、その後2003年5月に追加の工事を終え、全面オープンしました。22科200床を備え、保健部門と医療部門を相互に連携させながら、健康に関する様々な問題を抱える子ども達に一貫したケアを提供する子どもの健康のための、県内における一大拠点施設となっており、全国的にも注目を浴びています。

### マニユライフ生命について

マニユライフ生命保険株式会社（「マニユライフ生命」）は、マニユライフ・ファイナンシャル社のグループ企業で、世界的な格付け会社スタンダード&プアーズ社から、最高位の格付けである「AAA」を取得しています（2007年11月末現在）。

マニユライフ・ファイナンシャルは、カナダを本拠とし、世界19ヶ国・地域で数百万のお客様にサービスを提供している金融サービスのリーディング・グループです。カナダおよび日本、大部分のアジア地域では、マニユライフ・ファイナンシャルとして、また、米国においては、主にジョン・ハンコックとして事業を展開し、同社職員、エージェントおよび販売パートナーの広範囲にわたるネットワークを通じて、お客様に多種多様な保障商品や資産運用サービスを提供しています。マニユライフ・ファイナンシャルの管理運用資産は2007年9月30日現在3,990億カナダドル（3,980億米ドル）となっています。

マニユライフ・ファイナンシャル社は、トロント証券取引所、ニューヨーク証券取引所およびフィリピン証券取引所においては「MFC」の銘柄コードで、また、香港証券取引所では「0945」で取引されています。

マニユライフ・ファイナンシャルについての詳細は同社ホームページ（[www.manulife.com](http://www.manulife.com)）をご覧ください。マニユライフ生命のホームページは次の通りです。（[www.manulife.co.jp](http://www.manulife.co.jp)）

### 「マニユライフ生命 子どもの医療環境改善募金」について

NPO「子ども健康フォーラム」の活動趣旨に共鳴したマニユライフ生命と全国の同社職員の社内募金協力により寄贈された寄付金をもとに、NPO「子ども健康フォーラム」が、子どもの療養環境改善を促進するため、全国の子どもの入院または通院する医療施設を対象に、子どもの療養環境改善に役立つより新しく有益な特別企画のアイデアを公募し、優秀なアイデアに対してこの寄付金による助成をするものです。

『マニユライフわくわくルーム』プロジェクトは、一昨年より実施しているこの「マニユライフ生命 子どもの医療環境改善募金」の狙いをさらに強化するための特別プロジェクトとして実施されるものです。